

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成27年3月5日 NO.93 (193)

オー君 「モンタ博士！鳥の羽について、右の羽か左の羽かは、一目見ればわかるとい
ったけど・・・本当なんですか。」

花ちゃん 「そうそう。何でそんなことがわかるんですか。」

モンタ博士 「それがわかるんだよね。下の写真を見てごらん。」



オー君 「これは、羽のすじがまん中にはないから、尾っぽの羽ではないな。」

花ちゃん 「それに、ふわふわの羽でないから、胸やおなかの羽でないですね。」

オー君 「ということは、これは、風切り羽という翼の羽だ。でも、どうして、右とか左
とかわかるの。」

モンタ博士 「写真の、左の羽は左の翼についていたもの、右の羽は右の翼についてい
たもの。つまり、せまいほうが前なのさ。横から見るとかりやすいかな・・・」

オー君 「なるほど・・・。これって、飛行機の翼と同じだね。」

花ちゃん 「え！オー君。どういうことなの。」

オー君 「つまりさ。横から見ると、少しふくらんだところが前になるようになっているん
だよ。だから、飛行機と同じというわけさ。」

モンタ博士 「それで、鳥や飛行機は空を飛べるようになっているのさ。」

花ちゃん 「うーん。まだよくわからないわ。」

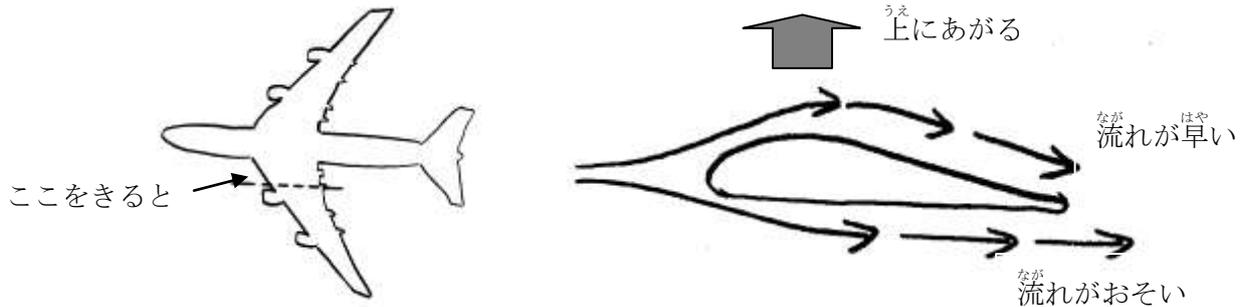
モンタ博士 「ここからがちょっとむずかしいけど、絵をよく見てごらん。左は飛行機の絵
で、点線のところの翼をたてに切ったものが、右の図なんだ。翼のまわり
を空気が流れると、飛行機を持ち上げる力が生まれるのさ。」

花ちゃん 「それって、どういうことですか。」

モンタ博士「つまり、翼の上のほうは、空気の流れが早くて、気圧というものが低くなり、翼をすいあげようとするのさ。」

花ちゃん 「それで・・・。」

モンタ博士「それで、下のほうは、空気が流れがおそく、気圧が高くなり、翼をおしあげようとするのさ。それで、飛行機は飛ぶということなんだ。」



モンタ博士「むずかしいお話をしてごめんね。あ！そうだ。むずかしいお話よりも実験を試みることが、みんなにはよくわかりやすいかな。あのさ、この前お話しした3種類の羽をね、なげてみるといいよ。」

オー君 「なるほど、むずかしいお話より、自分の目で確かめほうが楽しいぞ。」

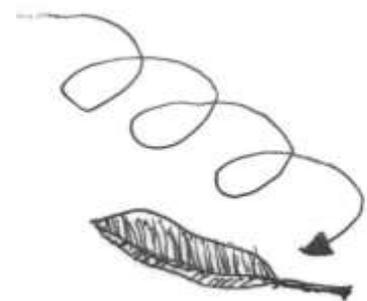
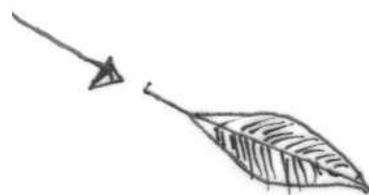
花ちゃん 「そうね。楽しそうですね。それで、どうやるんですか。」

モンタ博士「胸の羽、尾っぽの羽、翼の羽をなげてみるんだよ。」

胸の羽

尾っぽの羽

翼の羽(風切羽)



フワフワと落っこちるだけ

飛行機のようにスーと飛ぶ

クルクルまわりながら落ちる

モンタ博士「風切羽というのは、すこしそっているだろう。だから飛行機と同じだね。というよりも、飛行機は鳥の羽をよく観察して今の形になったんだ。自然界の姿から、人間はいろいろな事に気づき、それを生活に生かし応用し、文化や文明を発達させてきたというわけだね。」